

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年10月5日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4677700116
法人名	アール・エイチカンパニー有限会社
事業所名	高齢者グループホーム ゆうとみい
所在地	鹿児島県肝属郡南大隅町根占山本2547番地1 (電話) 0994-28-1755
自己評価作成日	平成23年8月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://kaken-shakyo.jp/kohyo">http://kaken-shakyo.jp/kohyo</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成23年9月27日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・最近事業所が特に力を入れている点
- ・入所者の家族(夫・妻・息子・娘)の悩みに対する相談相手。
- ・ご近所の一人住まいの高齢者の相談相手。
- ・町内でも車で30分～40分の一人住まいの高齢者の様子伺い(お弁当を持って訪問し残りは持ち帰っている)。
- ・元気になられご自宅へお戻りになった方の様子伺い
- ・退所後お亡くなりになった方々の葬式・墓参り等に参加している。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点,工夫点(評価機関記入)】

## 【事業所の優れている点】

- ・地域とのつながりを大事にしており、防災訓練に近隣住民が10名近く参加している。自治会に加入し、管理者は役員をして協力しており、地域の一人暮らしの高齢者を訪問して相談を受ける等、地域との交流に力を入れている。
- ・協力医療機関の医師が週2回の往診を行うなど、日頃から協力医療機関との連携ができており、緊急時に即座に対応可能であり、利用者や家族に安心を与えている。
- ・重度化や終末期に向けた対応については、主治医と連携して事業所の「看取り介護に関する指針」のもとに家族と話し合い、夜間の支援も充実している。

## 【事業所の工夫点】

- ・家族との連携は、年2回の家族会の実施や毎月の訪問時を利用して、家族とのつながりができるように工夫している。
- ・代表者が朝礼や業務の中で日頃から職員とコミュニケーションをとるように心がけており、職員は日常的に意見や要望を出しやすい環境である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		次のステップに向けて期待したい内容
			実施状況	実施状況	
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念をケアの基本として考えているので理念の共有と実践にもつながっている。	理念は事業所内に掲示してあり、パンフレットにも載せている。ユニットごとの朝礼で理解を深め理念を共有し、管理者・職員はよりよいサービスが提供できるように努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	管理者が地域の集会や行事に参加していて近所の人々の訪問も増えスタッフも顔馴染みになり日常的な会話も多くなっている。	自治会に加入しており、管理者は役員をして協力している。近所の人々が遊びに来たり防災訓練に参加したり、地域の一人暮らしの高齢者を訪問して相談にのる等、地域との交流を積極的に行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	特に一人暮らしの人を訪問し話し相手をする事で健康状態を確認できるので家族に報告するようにしている。家族からの相談もあるので支援の内容などのアドバイスが出来る様に努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議も回数を重ねる事で意見、要望、希望など活発に聞かれるようになり活気ある会議が出来ているのでサービス向上に役立っている。	運営推進会議に家族や民生委員・自治会長・商工会婦人部・役場担当者が出席し、定期的に開催している。活動内容等を説明し意見交換を行い、サービスの質向上に反映させている。外部評価の結果についても報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	
			実施状況	実施状況
			次のステップに向けて期待したい内容	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>市町村担当者とも顔馴染みになりサービスの取り組み方など理解してもらっている。協力関係は築けている。</p>	<p>町担当者がホームを訪問したり、提出書類のため役場に出向いた時等を利用して情報交換を行い、関係づくりを心がけている。町の役場職員も慰問に来たりして協力関係が築かれている。</p>
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束についての話し合いは何度も行っている。日頃のケアの中で身体拘束についてはその都度話し合っって拘束しないケアを行えるように指導し全員で取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束をしないケアについて、事業所の方針を入居時に家族に説明している。年2回の研修を実施し、身体拘束廃止委員会も設置しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。日中は鍵をかけないケアを実践している。</p>
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>日々のケアの中で常に注意をしながらその都度疑問に思えることなど話し合ったり社員研修を行ったりしながら虐待を見逃すことのないよう努めている。</p>	
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修を行いながら理解に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約や解約時には利用者及び家族に十分な説明を行い確認をしてサインや捺印をいただいている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>特に面会時に利用者の現状報告を行い意見や要望などを伺いそれらを運営に反映出来るように努めている。</p>	<p>年2回の家族会の実施や月1回程度の訪問の機会を利用して意見や要望等を聞き、速やかに解決できるように職員全体で改善に努めている。利用者からは日々の生活の中で声かけし要望等を聞いている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>代表者がケアマネージャとして現場にいるため職員の様子、意見、提案など常に聞けるので必要と思えることはすぐに反映させている。</p>	<p>代表者は、朝礼や業務の中で日頃から職員とコミュニケーションを取るように心がけており、意見を聞き、必要に応じて話し合う場を設け、勤務の希望についても配慮している。管理者も職員の意見や要望を聞くように心がけ、意見を反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>現場での勤務状態や個々の努力や実績などの伝達は代表者と密に行っている為しっかり把握してもらっている。各自が向上心を持って働けるような条件は整備されている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設外の研修等出来る限り受ける機会が与えられている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との交流は参加してみたが考え方の相違、日頃のケアの違いなどありサービスの向上には難しいと思われた。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	環境の変化で不安が生じやすいので出来る限り本人と寄り添い安心して生活が出来る様な関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の意見は出来る限り受け入れるように努めている。今までのところ家族との関係は問題ないと思われる。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	無理なケアをせず本人と家族の希望を受け入れるケア、サービスを行うよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒にお茶を飲んだり 台所で洗い物をしたり夜なかなか眠れない時は添い寝をするなどの生活を共にするケアに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	出来る限り本人が家族との関係を保てるように関わりを持ち共に本人を支えていく関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の喜ばれる事に関しては電話や面会などをお願いしつつ本人の生きがいなどにつなげていけるように努めている。	ほとんどが地元出身の利用者で、馴染みの知人や友人の訪問が多い。事業所からも働きかけを行い、電話や面会など、関係を継続できるように支援している。墓参り等の外出はできるだけ希望に添えるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者一人ひとりの性格を理解し孤立せず楽しく生活が出来るよう利用者同士の関わりにも気配りし支援できるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所、入院の場合でも時々見舞うなどしながら関係を保っている。家族からも電話があったり施設に野菜など持ってきて下さったりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	
次のステップに向けて期待したい内容					
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人を尊重し本人本意の暮らし方に添えるように努めている。	入居時に利用者の思いや希望を聞いており、困難な場合には家族から情報を得ている。利用者からは、日々の生活支援の中から意向を汲み取り、情報を共有し支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	出来る限り家族本人から情報を得、これまでの本人の生活に近い生活が送れるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	体調、心身状態を注意深く見守りながら出来る能力を生かし有意義に生活が送れるように支援している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の変化や身体的なことなど考えながら本人がよりよい生活が送れるよう現状に合わせた介護計画を話し合いながら作成している。	モニタリングは3～6ヶ月毎に実施し介護計画の見直しも定期的に行っている。また、状態が変化した場合は、随時見直しをしている。利用者の暮らしぶりをもとに、家族に面会時や電話で報告して情報交換を行い、現状に即したプランになるように作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>夜勤者への申し送り、朝の朝礼などで個々の状態の把握を行っている。発熱、食思の無い人などの食事の状況や排便コントロールをしている人の情報など全職員に伝えてケアを行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>自宅で一人暮らしをしている人の様子を見に伺ったり面会にこれない家族に本人の近況を知らせたり足りない衣類を取りにいたりして多機能化に努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>相談があった場合自宅訪問し本人に合った社会資源のアドバイスを行いながら本人の希望どうり出来る限り自宅で安全に暮らせる方法などを考えて支援するようにしている</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医との関係は蜜に出来ている。家族との信頼も得られていると思う。</p>	<p>本人や家族の同意を得て、かかりつけ医を決めている。協力医療機関の医師が週2回の定期健診等の往診をしている。通院は家族の協力をもらいながら、職員が対応している。協力医療機関との連携ができており、利用者や家族にとって安心できる環境である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医の看護師と常に相談しながら利用者の健康管理を支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時にも何度も見舞い顔なじみの関係を保つようにしている。家族が遠方の場合出きる限りで向いてかかわり淋しくないように心がけている。そうする事で医療機関の人との関係づくりも出来ている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合終末期のあり方については常に家族と話し合い本人の苦痛が少しでも和らぐような支援を全員で行うようにしている。</p>	<p>重度化や終末期に向けた対応については、入居時に事業所の「看取り介護に関する指針」を説明している。重度化した場合には、事業所の方針を全職員が共有し家族と話し合い、主治医と連携して支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>全ての職員が対応できるようにしていきたい。各ユニットに緊急時のマニュアルを置き学べるようにしてある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>全ての出入り口にスロープを付け車椅子での避難がスムーズに出来るようにしてあり 年2回夜間想定避難訓練を消防署立会いのもとで実施して地域の人との協力体制も築けている。</p>	<p>避難訓練は年2回実施しており、地域住民が10名近く参加している。消火器の訓練や消防設備の定期点検も実施している。スプリンクラーは、昨年設置完了している。非常用の食料や水は備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		次のステップに向けて期待したい内容
			実施状況	実施状況	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>人格の尊重とプライバシーの保護には特に注意しながら言葉かけや対応を行っている。</p>	<p>入職時に管理者が、人格の尊重とプライバシーの確保について説明し、個人を尊重したケアの実践を指導している。事業所内に指針を掲示し、ユニット毎に話し合う時間を作っており、日頃から利用者に対しての配慮した言葉かけなどを実践している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>本人の性格を理解し寄り添ってゆっくり話し合っていくように努めている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>常に一人ひとりのペースにあわせた起床、入浴、食事等を行っている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>定期的に散髪をしたり、一日に何回も着替えをされたり自分の思うように出来る様なお手伝いをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の皮むきや下こしらえなど一緒にしたりランチョンマットの準備後片付けなど一緒にしている。	献立は利用者の希望を聞き、利用者が食べやすいように常に配慮している。利用者もできる範囲で食事の下ごしらえや後かたづけなど手伝っており、職員と利用者が同じテーブルを囲んで楽しく食事をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量、水分の摂取量は常に把握出来る様に分かりやすく記録している		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	各自に合った口腔ケアをしている拒否の強い人は落ち着いてから行うようにしている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	出きる限り布パンツを使用している。今の状態に合わせてプライドを傷つけないように夜間のみ紙パンツを使用してみたり様子を見ながらのケアに取り組んでいる。	排泄チェック表を作成しており、利用者一人ひとりの排泄パターンを把握している。できるだけ布パンツを使用して適時に声かけを行い、トイレ誘導をして、排泄の自立に向けた支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取に注意し牛乳を飲んでもらうなどしながら個々に応じた予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	本人の希望 意思を尊重した入浴が出来るように支援している。	入浴は週に2～3回のペースで、入浴時間などは利用者の体調を考えながら希望を尊重している。浴室に浴槽が2つあり、気の合う人と希望により一緒に入ることもできる。気分よく入浴できるように配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて支援をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	現場に個々の薬の説明書を置いてあり変更 追加の薬については全員に理解してもらえようように説明をし症状の変化を注意深く見守っていく支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	タオルや洗濯物など無理のない程度のお手伝いをしてもらったり利用者から率先して出来る事を見つけてくださるような支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	家族の都合に合わせて外泊 食事 墓参りなど行かれている。	日常的に天気のよい日は近隣を散歩している。家族との外泊や外食なども多い。墓参りの要望にも、できる範囲で職員が同行している。花見などの行事には、歩行困難な利用者も車を利用して外出している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	普段はお金は所持していないが突然こだわりが出てきたりして不穏になった場合など話を聴いて納得いく対応を支援している。自分で所持している人は買い物など頼まれたりする。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族より荷物が届いたりした時お礼の電話をかけたり声が聞きたいと言われる時など電話してもらったりこちらからかけてもらったりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	
			実施状況	実施状況
			次のステップに向けて期待したい内容	
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>思い思いの場所でソファで昼寝をされたり 気の合う人と話をしたりされるのでイスの準備をしたりクッションを使って楽な姿勢でゆっくり過ごせるように工夫している。</p>	<p>ホールの壁側にソファがあり、ゆっくりと過ごしやすい場所となっている。ウッドデッキから、外の風景が楽しめるようになっており、のどかな環境である。壁には利用者が楽しんでいるカラオケの歌詞が貼ってあり、手作りの作品等が飾ってある。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファで気の合う入所者と過ごしたり自分の好きな場所で思い思いに過ごしている。</p>	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入所時に使い慣れたもの 好きなもの 大切にしているものなど持ってきてもらうようにしている。</p>	<p>居室は洋室で、ベッドと整理ダンスが備え付けられている。居室には本人の作品や使い慣れた家具等が置かれ、位牌や家族の写真等が飾ってあり、安心して暮らせる配慮がされている。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>環境整備に努め安全に移動ができ、出来る限り自立した生活が送れるように工夫している。</p>	



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない